

分かる快感！

かい

Z会ナビ

算数

理科

社会

お題

とう けい ふ か え ねん

統計で振り返る2020年

おうちで楽しく！

プログラミング通信講座、Z会にて開講中！



Z会 KOOV 検索

次の表は、2020年4～6月の運輸業・郵便業の売上高が、前年4～6月に比べて減少した割合を示したものです。A・Bは、道路旅客運送業と道路貨物運送業のどちらかです。Aにあてはまる産業を答えなさい。

産業	減少率
航空運輸業、郵便業	76.0%
鉄道業	62.4%
A	51.9%
B	4.9%

サービス産業動向調査
2020年4～6月の売上高の前年比減少率

2020年は、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けた1年になりました。統計をもとに、2020年を振り返ってみましょう。

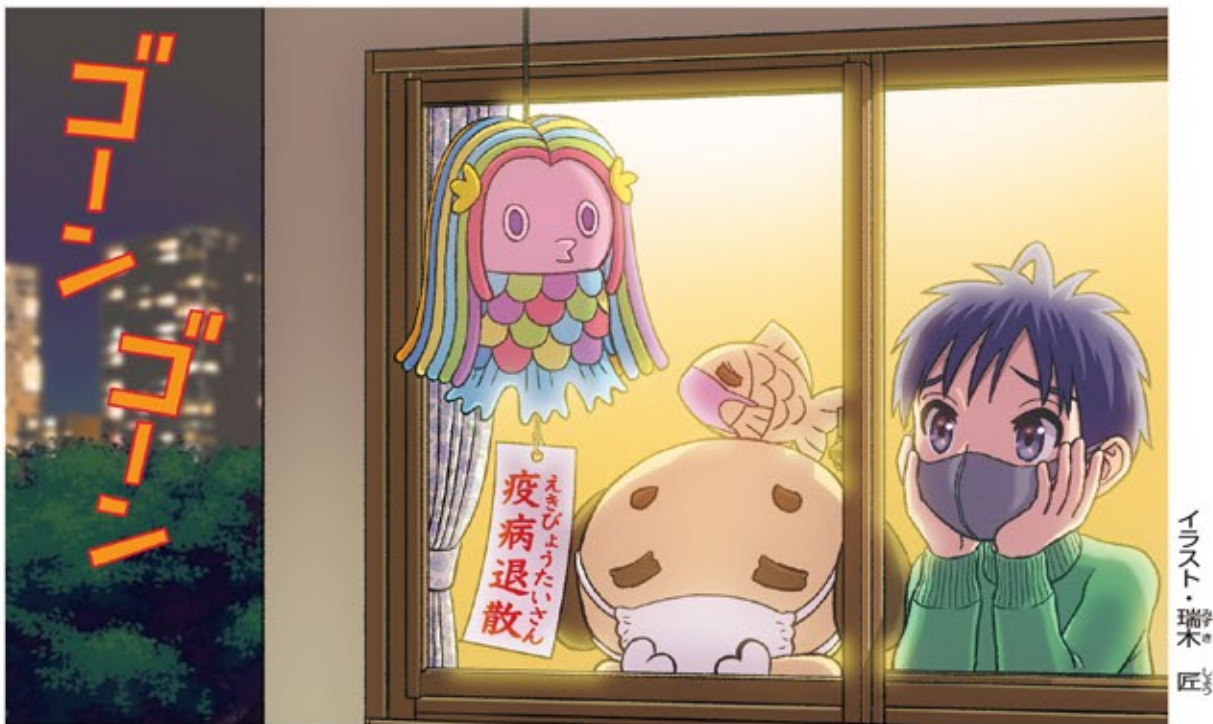
緊急事態宣言の下での生活

新型コロナウイルス感染症は、2月ごろから感染者が増えていきました。そして、イベントの自粛や休校の願いが出され、4月に緊急事態宣言が出されるとともに、飲食店などの休業や、不要不急の外出自粛が求められるようになりました。5月25日に緊急事態宣言が解除されましたが、引き続き感染拡大防止に気を付けた「新しい生活様式」をとることになりました。そして、徐々に経済活動を再開していくことになり、観光業や飲食業などの支援として「GoToキャンペーン」が始まり、現在に至っています。

問題の統計は、2020年4～6月ですから、最も厳しく対策がとられていた時期のものになります。不要不急の外出自粛が求められ、とくに都道府県をまたいでの移動を控えるように呼びかけられていましたね。そのため、旅客の長距離輸送を担っている航空運輸業や鉄道業は、売上高が半分以下になっています。航空運輸業については、海外への渡航も自粛を求められていたため、国際線もほとんど乗客がいなかった状態になっていました。

問われている道路旅客運送業はバスやタクシーなど、道路貨物運送業はトラックや宅配便などの会社が含まれます。外出自粛が求められている時期の統計ですから、減少率が50%を上回っているAが道路旅客運送業、約5%の減少にとどまるBが道路貨物運送業です。

緊急事態宣言の下でも、生活必需品を売る小



売業や、それを運ぶ貨物運送業で働く人たちは、生活を維持するために必要不可欠という意味で「エッセンシャルワーカー」と呼ばれ、注目されました。工場や市場とお店をつなぐトラック輸送だけでなく、お店と個人の住宅をつなぐ宅配便も、外出を控える生活の中で活躍しました。まだ感染対策が確立しておらず、マスクなどの衛生用品が品薄だった時期のことでした。

緊急事態宣言が明けてから

問題で扱った統計の7～9月の数字も見てください。

産業	減少率
航空運輸業、郵便業	65.6%
鉄道業	47.9%
道路旅客運送業	35.2%
道路貨物運送業	5.4%

サービス産業動向調査
2020年7～9月（速報値）の売上高の前年比減少率

引き続き、三つは大幅な減少率になっていますが、4～6月に比べると回復しています。十分な感染対策をしたうえで、「GoToキャンペーン」が始まったことなどによる効果と考えられます。同じ統計での宿泊業の売上げの減少率は、4～6月が73.7%、7～9月が44.2%なので、こちらも回復しています。

2020年は幅広い産業が新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、問題で扱わなかったさまざまなサービス産業の7～9月の売上高の減少率をみてみましょう。

産業	減少率
通信業	1.4%
情報サービス業	4.1%
不動産賃貸業・管理業	2.6%
宿泊業	44.2%
飲食店	27.1%
娯楽業	16.5%
医療業	4.6%
社会保険・社会福祉・介護事業	1.0%
サービス産業全体	12.3%

サービス産業動向調査
2020年7～9月（速報値）の売上高の前年比減少率

「GoToキャンペーン」のおもな支援対象になっている産業は、引き続き売上げが大きく減少していることがわかりますね。
(Z会・河合新)

！
今回の
教訓

統計で数字を確認することで、思い込みを防ぎ、正しく事実を知ることができます。2020年はファクトチェックという言葉が広まった年でもあります。21年も、流れてくる情報をうのみにせず、統計などをもとに検証するようにしましょう。



河合新さん 2010年Z会入社。小学生向けの社会の教材編集を担当。趣味は地図や映画を見ること。1984年岐阜県高山市生まれ。